

中央卸売市場会計（令和３年度）

（１）財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

市場会計は、昭和47年度から平成元年度まで経常損益での赤字が続き、昭和63年度の旧神田市場等の跡地売却に伴う受取利息の増加により、平成２年度から平成６年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成７年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の効率的運営を徹底するとともに、平成12年４月に16％（12年度８％、13年度14％、14年度16％の段階的实施）の使用料改定を行い、平成19年度に企業債繰上償還による支払利息の圧縮を行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて黒字で推移してきたが、平成28年度以降は、豊洲市場への移転準備経費の増加などにより、赤字となっている。

また、平成30年度に旧築地市場跡地の一般会計への有償所管換を行ったことにより、平成30年度決算の当期純利益は4,629億円となり、累積欠損金の処理に充当した後の未処分利益剰余金は約4,500億円となった。その後、当該未処分利益剰余金のうち3,626億円を、議会の議決により減債積立金に積み立てる利益処分を行った。

旧築地市場跡地の有償所管換に伴う剰余金により、資金収支は約50年間の事業継続性を確保できるものの、豊洲市場の運営に伴う減価償却費等の増加により、経常損益は大幅な赤字で推移する見込みである。

今後も、将来にわたり持続可能な市場経営を実現していくため、財務体質の改善を通じた経常収支の黒字化に向けて着実に取り組んでいくこととしている。

（２）令和３年度予算概要

中央卸売市場は、消費者ニーズの多様化や流通環境の変化、新型コロナウイルス感染症のような新たなリスクへの対応など、卸売市場を取り巻く環境が大きく変化する中であっても、都民の日常生活に不可欠な生鮮品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため重要な役割を担っている。このため、令和３年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、419億１千７百万円で、令和２年度に比べ60.1％、金額で631億９千８百万円の減少となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、228億３千８百万円となっており、収入と支出の差し引きでは190億７千９百万円の支出超過となっている。

ア 収益的収支

収入としては、営業収益が 177億６千１百万余円で、内訳は、売上高割使用料が 36億５千万余円、施設使用料が 89億６千８百万余円となっている。

営業外収益は、50億７千６百万余円で、内訳は、一般会計補助金が 31億４千２百万円、受取利息等が19億３千４百万余円、となっている。

これら営業収益、営業外収益を合わせた収益的収入の合計は、228億３千８百万円である。

支出については、市場事業費の総額が369億１千１百万円で、そのうち、営業費用が 334億１千１百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が 191億１千７百万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、１億８千１百万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、141億1千3百万余円である。

営業外費用は、30億4千8百万余円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、17億6千8百万余円となっている。

支払利息及企業債取扱諸費は、10億余円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地方消費税、雑支出を計上した。また、特別損失を4億4千9百万余円計上している。

イ 資本的収支

収入は、計上していない。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は50億6百万円である。

このうち、建設改良費は48億2千5百万余円であり、内訳は施設拡張費が3億9千4百万余円、施設改良費が43億9千7百万余円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が3千3百万余円である。

今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

市場名	内 容
豊 洲 市 場	給水設備改修工事
食 肉 市 場	市場棟北側冷蔵庫改修工事
大 田 市 場	青果棟屋上防水工事
豊 島 市 場	卸売場エレベーター1・2号機改修工事
淀 橋 市 場	低温卸売場整備工事
足 立 市 場	冷蔵庫棟防水工事
板 橋 市 場	花き棟給排水設備更新工事
世 田 谷 市 場	花き仲卸店舗照明器具取替工事
北 足 立 市 場	青果部仲卸売場・事務室照明器具取替工事
多 摩 ニ ュ ー タ ウ ン 市 場	管理棟トイレ改修工事
葛 西 市 場	青果部卸売場屋根改修工事

その他、投資が1億7千1百万円、国庫補助金返納金が9百万余円である。

(3) 令和3年度中央卸売市場会計予算総括表

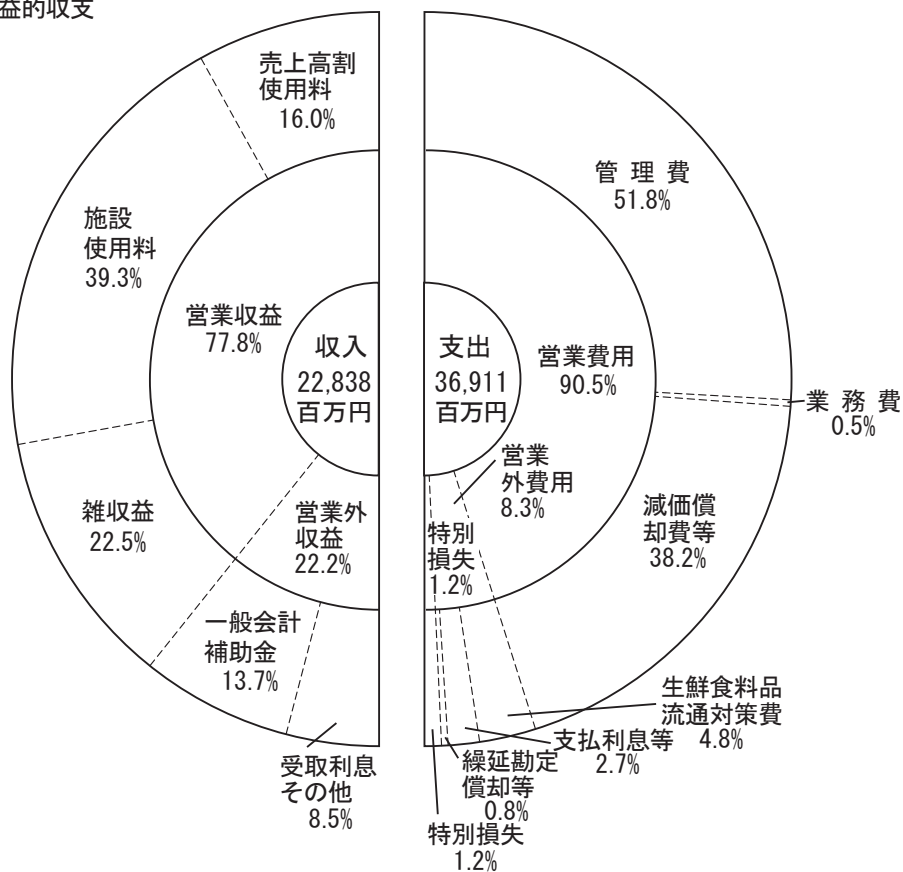
(単位：千円)

科 目				令和3年度 当初予定額	令和2年度 当初予定額	増（△）減
収益的 収支	収 入	営業収益	売 上 高 割 使 用 料	3,650,870	3,678,850	△ 27,980
			施 設 使 用 料	8,968,130	8,854,150	113,980
			雑 収 益	5,142,040	5,376,119	△ 234,079
			計	17,761,040	17,909,119	△ 148,079
		営業外収益	一 般 会 計 補 助 金	3,142,000	3,711,000	△ 569,000
			受 取 利 息 そ の 他	1,934,960	1,923,881	11,079
			計	5,076,960	5,634,881	△ 557,921
		特 別 利 益		0	0	0
		合 計		22,838,000	23,544,000	△ 706,000
	支 出	営業費用	管 理 費	19,117,465	19,420,612	△ 303,147
			業 務 費	181,108	172,807	8,301
			減 価 償 却 費 等	14,113,360	14,132,886	△ 19,526
			計	33,411,933	33,726,305	△ 314,372
		営業外費用	生 鮮 食 料 品 流 通 対 策 費	1,768,733	2,214,055	△ 445,322
			支 払 利 息 及 企 業 債 取 扱 諸 費	1,000,096	1,874,737	△ 874,641
			繰 延 勘 定 償 却 等	279,738	103,739	175,999
			計	3,048,567	4,192,531	△ 1,143,964
		予 備 費		1,000	1,000	0
		特 別 損 失		449,500	1,094,164	△ 644,664
		合 計		36,911,000	39,014,000	△ 2,103,000
		収 支 差 引 額			△ 14,073,000	△ 15,470,000
資本的 収支	収 入	企 業 債	0	0	0	
		一 般 会 計 出 資 金	0	0	0	
		国 庫 補 助 金	0	0	0	
		そ の 他 資 本 収 入	0	1,000	△ 1,000	
		計	0	1,000	△ 1,000	
	支 出	建 設 改 良 費	4,825,457	5,893,457	△ 1,068,000	
		企 業 債 償 還 金	0	60,000,000	△ 60,000,000	
		投 資	171,000	198,000	△ 27,000	
		国 庫 補 助 金 返 納 金 等	9,543	9,543	0	
		計	5,006,000	66,101,000	△ 61,095,000	
	収 支 差 引 額			△ 5,006,000	△ 66,100,000	61,094,000

(注) 資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、〔損益勘定留保資金その他〕をもって補てんする。

(4) 令和3年度中央卸売市場会計予算の構成割合

ア 収益的収支



イ 資本的収支

